



丸

「挑戦」「前進」「変化」



いよいよ3日後 杵島・武雄地区中体連夏季大会

中学校部活動の集大成の大会です。コロナ感染で県大会・全国大会は中止されていますが、選手の皆さん、この地区大会が開催されることに感謝の気持ちをもって、武雄北中学校の代表として正々堂々と最後まで自信をもって、あきらめず戦ってください。これまで保護者の方や選手に選ばれなかった仲間、後輩の支えや応援を胸に秘めて、負けを恐れず、力を出し切って楽しんでもらいたいです。

勝負事は勝ち負けがつきものです。相手も必死です。それに打ち勝たなくては勝利の女神は微笑みません。平常心で気負わず、練習通りに戦ってください。武北魂 ファイト!!!

保護者の皆様へ、過日にプリントでお知らせしておりますが、コロナ感染防止のため応援者が制限されております。どうぞ主旨をご理解の上ご協力をお願いします。

試合結果等は学校お知らせメールで速報を流します。

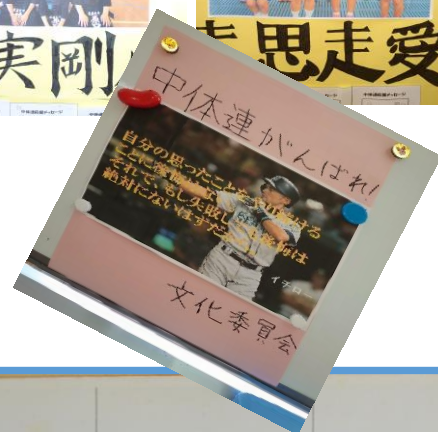
試合前の生徒の自宅での体調管理をよろしくをお願いします。寝汗をかくことが疲労回復につながると言われます。クーラーのかけっぱなしは要注意です。



「中体連の思い出」

私はこの中体連の時期になると必ず思い出すことがあります。それは、40数年前の中学3年生の時、この中体連のレギュラーから外され出場できなかったことです。S47年4月武内中学校と若木中学校が合併統合され武雄北中学校となりました。そして、中3のS51年9月1日から現在の校舎が完成し、2学期から新校舎での生活となりました。各剣道大会に武内・若木で各中学校別に出場していましたが、新校舎が完成するS51年度から大会出場は武雄北中学校としての出場となりました。当時、練習試合でも若木中学校の剣道部は強くて、武内はちょっと弱勢でした。私はレギュラーから外されたくない気持ちで4月から7月までの練習を頑張りました。自宅で素振りや走り込みなどできることをやりました。しかし、大会前のレギュラー発表で名前が呼ばれなかったのを覚えています。その時の悔しさと挫折感は大きかったです。当時を振り返ると準備不足や自分が強いというおごりがあったと思います。でも悔しさや挫折がある意味自分を強くしてくれたとも思います。途中何度も他のスポーツへ変わろうかと思いましたが、一流選手にはなれなかったけど一つの種目を続けたこと。剣道が好きで、生徒に教えたくて剣道に情熱を注ぎ、今でも剣道を続けていること。これからも体がゆうことをきく限り続けること。が私の今の自慢です。

皆さん若いころの挫折や失敗は成功よりもその後の人生を支えてくれるものではないかとも思えます。



昭和三十五年
武雄北中学校
三年生剣道部
集合写真です。
私は左端です。
懐かしい。タンスから探してきました(笑)



6月の特別授業の様子

今月は、成長していく上で多くのことを学びました。

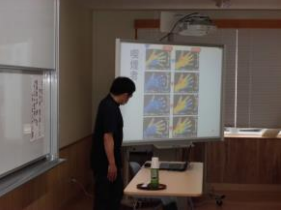
2日私立 11日県立 高校説明会(3年)



12日生徒総会(全学)



15日1年生防煙教室



18日不審者対策避難訓練(全学)



18日食育教室(全学)



19日AED教室(1年)



23日歯のブラッシング指導(2年)



29日夢プロ説明(全学)



30日職業講話(2年)



7月の主な行事

- 4・5(土日) 杵島・武雄地区中体連夏季大会
- 3金 1年生 梅ジャム体験②③校時
- 9・10(木金) 実力テスト(全学)
- 13(月) 育友会評議委員会(19:30CR室)
- 18・19(土日) 県中通信陸上競技大会(佐総G)
- 21~30 3年生三者面談
- 31(金) 全校集会 夏季休業8月1日~8月24日まで

生徒も大人も学ぶコーナー

皆さん、「インプット」「アウトプット」という言葉がよくつかわれますが、そもそも何なのでしょう。

インプットとは、脳の中に情報を入れる、つまり「入力」すること。アウトプットとは、脳の中に入ってきた情報を脳の中で理解したり整理したりしたことを外界に「出力」することです。勉強で言うなら、教科書を読むのがインプット。問題集を解く、テストを受けるのがアウトプットです。

インプットすると脳の中の知識が増えます。しかし、インプットだけでは現実的な変化は何も起こりません。アウトプットは「行動」です。アウトプットして初めて、現実世界に対して変化や影響を与えます。要は、学んだことを実践する活用することが大切です。そこで初めて本当の知識となります。

神経科医 樺沢紫苑先生より